

5 観光立国への貢献と地域再生への取組み『暮らし』

美しく個性豊かな「みなと」づくり

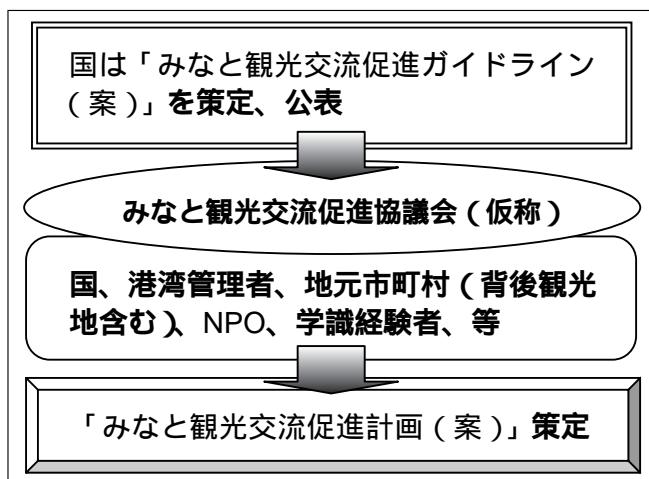
イ) みなとを活かした観光振興による地域再生

みなと観光交流促進プロジェクト

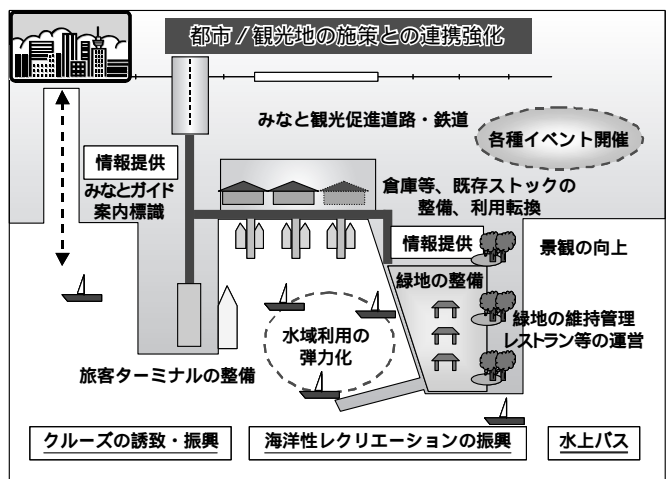
「観光立国」実現のための政府の取組みと連携し、国土交通省が進めている「グローバル観光戦略」、「観光交流空間づくり」等の観光振興施策を積極的に推進するため、「海からのアクセス」、「都市/観光地の施策との連携」、「みなとの観光交流」の観点から、地域と一体となってソフト及びハードの整備を重点的、一体的に実施し、もって地域再生を推進する。(網走港、別府港等)

事業費38億円(対前年度比1.06)、国費20億円(対前年度比1.12)

事業計画策定までの展開イメージ

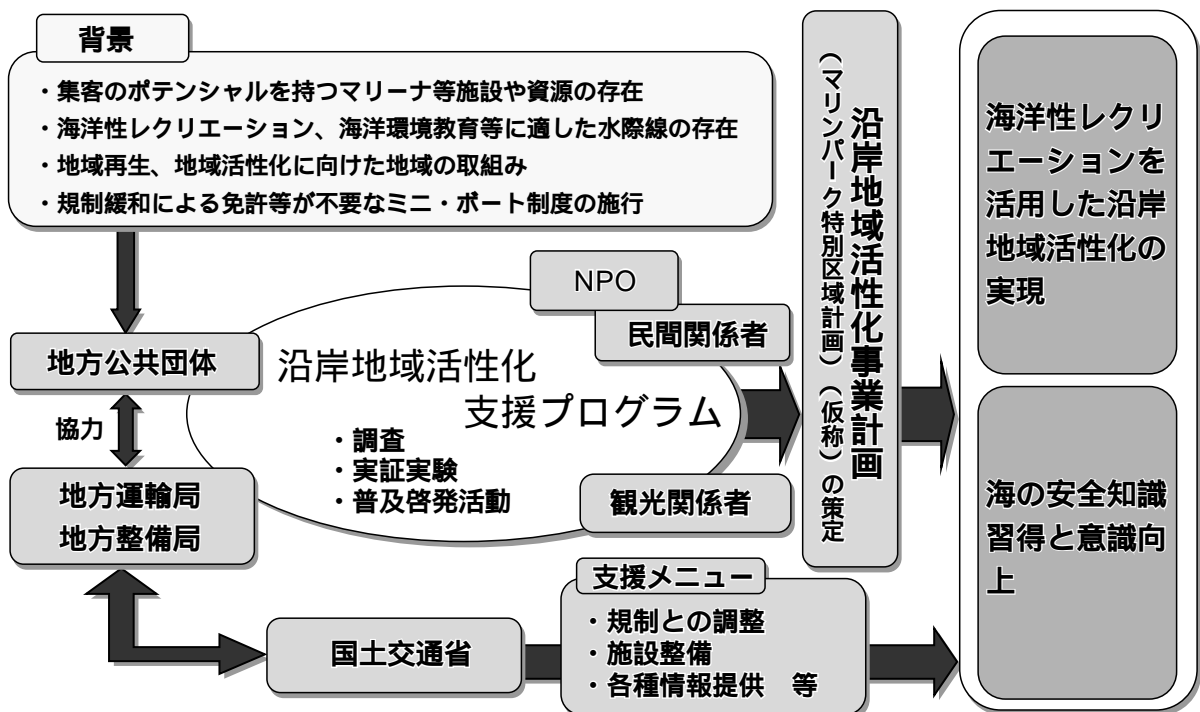


みなとを活かした観光振興による地域再生イメージ



海洋性レクリエーションを活用した沿岸地域活性化の推進

プレジャーボート等小型船舶や既存マリーナ等港湾施設を活用した海洋性レクリエーションや環境教育活動及び観光振興等の取組みを支援し、沿岸地域の活性化を推進する。(行政経費)



ロ) 個性を活かし地域を活性化する美しい「みなとまちづくり」の推進

地域の個性ある発展を将来にわたり着実に進めるため、みなとの資産を住民・市民の立場から再評価するとともに、地域産業、海に開かれた特性など「みなと」の資産を最大限に活用して、市民の合意の下で美しく活力のある「みなと」空間を形成し、「みなとまちづくり」を推進する。

「みなとまちづくり」の推進に必要な事業の実施にあたっては、地域の活性化をより早く、効果的・効率的に実現できるものについて投資の重点化を図る。(稚内港、宇野港、石垣港等)

指標：都市域における水と緑の公的空間確保【12㎡/人(H14) 約2%増*(H15) 13㎡/人(H19)】

*は速報値

美しく活力のある「みなと」空間の創出

豊かで親しみやすいみなと



(宇野港)

海洋性レクリエーションや観光を核としたみなと



(石垣港)

地域の活動を支える海上交通機能の向上とユニバーサルデザイン化の推進

イ) 離島等の生活航路における就航率及び輸送の安定性の向上

公共交通以外の利用が困難な離島において、生活物資の輸送などの観点から人々の生活に不可欠な交通基盤である港湾について、ナショナルミニマムの確保・維持の観点をも踏まえ、防波堤・航路等の所要の整備により離島航路の就航率向上などの輸送の安定性の確保に努める。(宮之浦港等)

ロ) 港湾におけるユニバーサルデザイン化の推進

みなとを訪れる人々が安全かつ身体的負担の少ない方法で公共交通機関を利用できるよう、また、港湾緑地においては誰もが水辺にアクセスできるよう、旅客船ターミナルや係留施設、港湾緑地等のユニバーサルデザイン化を推進する。(西之表港等)

指標：一日当たりの平均利用者数が5,000人以上の旅客施設、その周辺等の主な道路等のバリアフリー化の割合【旅客施設の段差解消:39%(H14) 7割強(H19) 視覚障害者誘導用ブロック:72%(H14) 8割強(H19)】

交流・物流としての役割を果たす離島港湾



(宮之浦港)

揺れにくい浮桟橋



(西之表港)